

第2章 本市の概況

2-1. 位置・地形地勢

本市は、北海道の中西部、石狩平野の東側に位置し、札幌から40km圏内にあり、交通条件と自然環境に恵まれ、空知地域における行政・産業経済・教育文化などの中核を担う都市です。

平成18年3月27日に北村、栗沢町を編入合併し、総面積は481.02k㎡となりました。

本市の地勢は、西部には石狩川流域低地である平野が広がり、東部には夕張山地を形成する低山性の山々が連なっており、夕張山地を水源とする幾春別川、幌向川が低地帯に入るところで大小の扇状地をつくりながら、西部を貫流する石狩川と合流しています。

地質は、概ね石狩低地東縁断層帯主部を境に西側の平野が新生代第四紀現世に属し、砂礫や粘土で構成される比較的柔らかな沖積地堆積層に、夕張山地に向かう東側は、新生代第四紀更新世と中生代に属し、砂岩・泥岩・礫岩などの堆積岩類に覆われています。

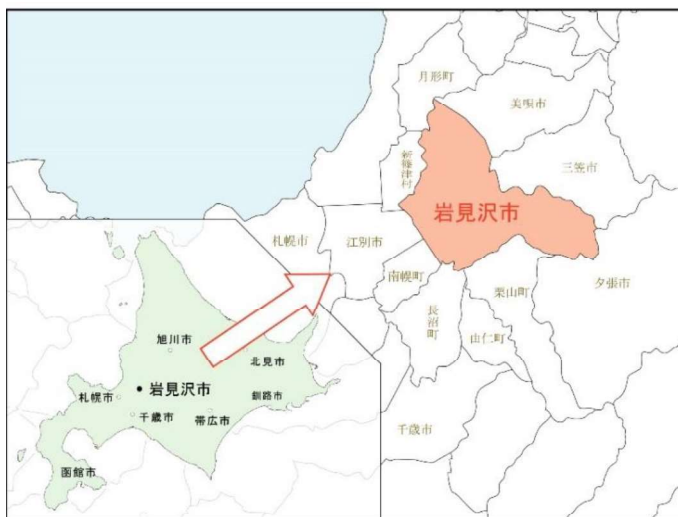


図2 本市の位置

2-2. 人口・世帯数

本市の人口及び世帯数の推移は以下のとおりです。

また、岩見沢市人口ビジョン（令和2年度改訂版）では、令和7（2025）年の将来人口を74,318人、令和12（2030）年の将来人口を69,462人と推計しています。

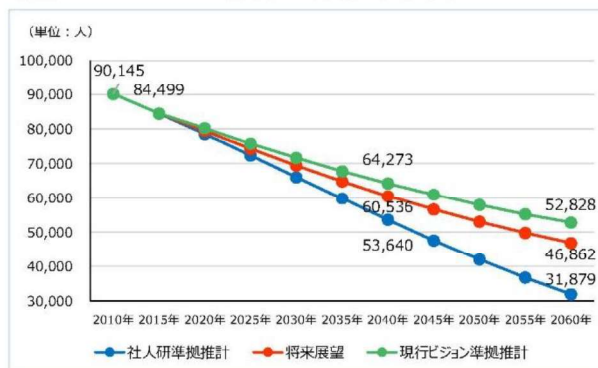
表1 本市の人口（合併前の北村、栗沢町も含む）

	人口	世帯数
昭和50年	89,369人	27,060世帯
昭和55年	93,340人	30,476世帯
昭和60年	95,862人	31,914世帯
平成2年	93,312人	32,478世帯
平成7年	97,042人	35,731世帯
平成12年	96,302人	36,941世帯
平成17年	93,677人	37,322世帯
平成22年	90,145人	36,723世帯
平成27年	84,499人	36,155世帯
令和2年	79,306人	35,584世帯

出典：各年国勢調査

図3 将来人口の推計

【図表2 人口ビジョンにおける将来展望（令和2年改訂）】



※社人研準拠推計：「日本の地域別将来推計人口（2018年3月推計）」に準拠した推計
 ※現行ビジョン準拠推計：改訂前の人口ビジョンに準拠した推計（2015年人口の置き換え）

出典：第2期岩見沢市総合戦略
 岩見沢市人口ビジョン（令和2年度改訂版）

2-3. 人口分布

平成 27 年国勢調査の人口密度を見ると、国道や岩見沢駅等周辺の市街地が高くそれ以外の郊外部では低くなっています。

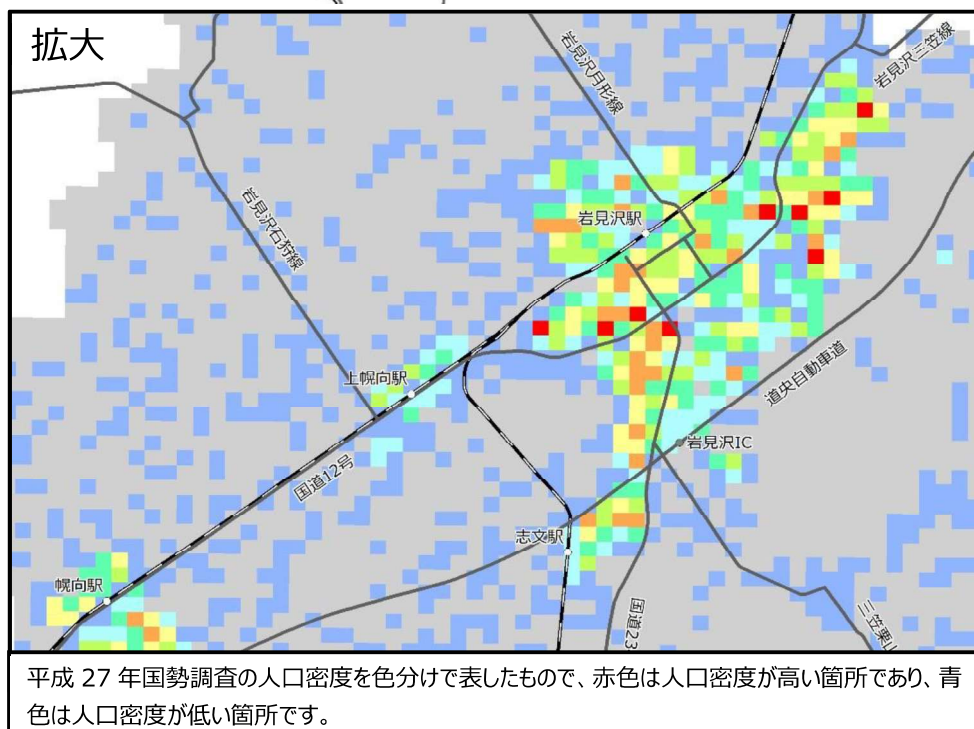
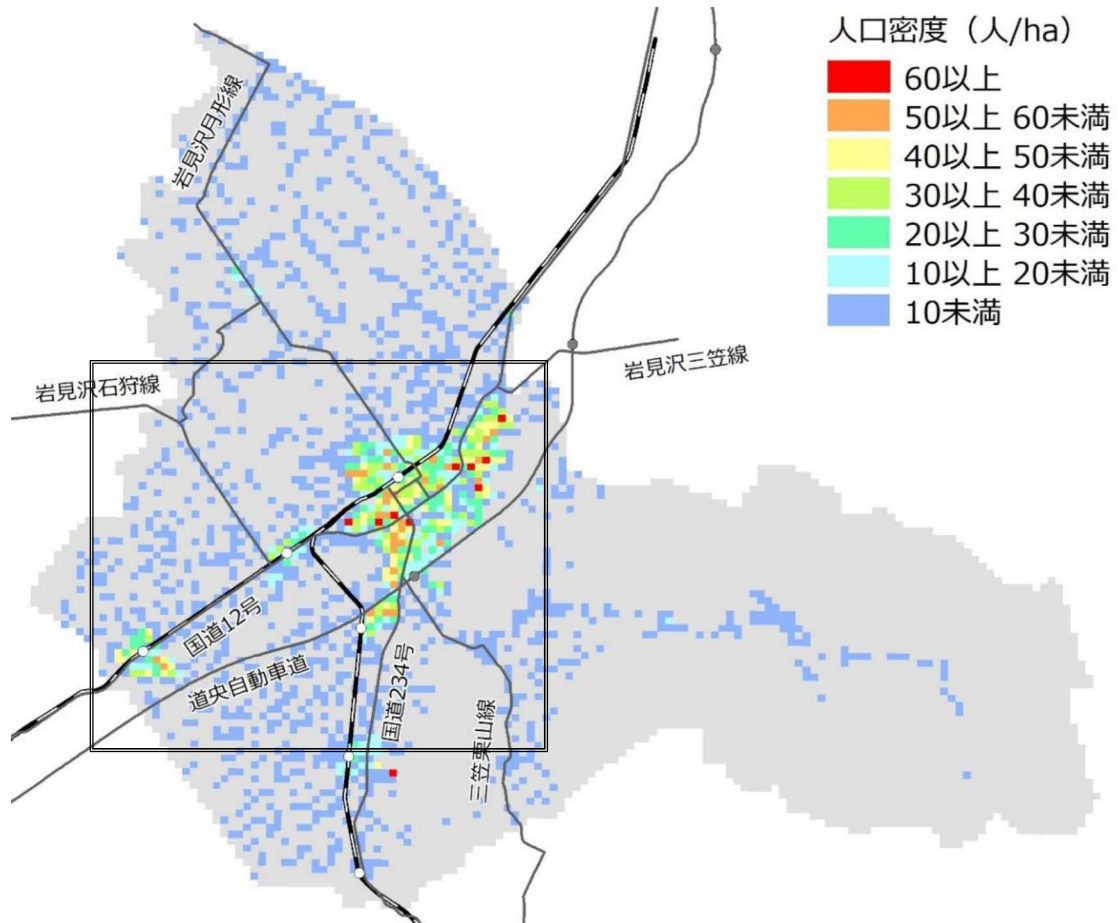


図4 人口密度の分布（平成 27 年国勢調査）